

# ペットボトルで作る エコな風力発電

「夏休み子ども体験教室」の第1弾は西澤館長が講師となり、工作で「ペットボトルで作るエコな風力発電」でした。小学校の夏休みは始まったばかりですが、20組の親子40名が参加していただき、とても盛況でした。

まずモーターにLED（発光ダイオード）を取り付け、ケースに組み込みます。指でモーターの軸を回すとLEDが光り、「光った〜」と、あちこちで歓声があがりました。モーターの仕組みやLEDについて少し説明が必要でしたが、低学年が中心で難しい話しは省略しました。次にペットボトルで風車を作りました。カッターとはさみで6枚の羽根を切り出してモーターと組合せましたが、最初はみんなうまく出来ませんでした。が、「羽根の向きと長さを短くしてみるといいよ!」というヒントからそれぞれ工夫して、だんだんうまく回りはじめました。風をとらえるように尾翼をつけて、好きな色に仕上げました。時間がなく、屋外で試せませんでした。が、扇風機にかざすとみんなLEDが点灯していました。

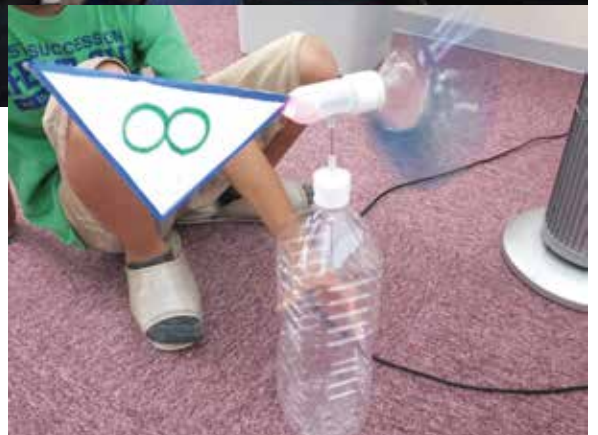
自由研究のテーマとして「風の強さとLEDの光り方」とか「羽根の形のちがいと風車の回り方」なども家に帰って実験してみると面白いよと伝えて終わりました。「うまく風車を回すように考えることが楽しかった。」という感想などがありました。2時間の楽しい体験教室になりました。



みんな真剣に聞いています



モーターを組み込んでいる様子



扇風機風の勢いよく回っています